

平成22年度一般会計当初予算説明資料

6款 農林水産業費
 5項 水産業費
 2目 水産業振興費

水産課(内線:7309)
 (単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) カワウ被害防除対策事業	913	0	913				913	
トータルコスト	2,527千円 (前年度 0千円) [正職員:0.2人]							
主な業務内容	カワウによる漁業被害の実態把握							
工程表の政策目標(指標)	漁場資源の増産							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

県内の湖沼河川における、カワウによる魚類の食害を軽減するため、内水面漁業協同組合が実施するカワウの駆除・被害軽減活動に対して支援を行い、内水面漁業の振興に資する。

2 主な事業内容

カワウ被害の今後の対策や、カワウの個体数管理などの基礎資料とするため、県内漁協と連携してカワウによる被害状況調査を行う。

(1) 事業主体

- ・カワウの捕獲 東郷湖・湖山池・天神川漁協
- ・食性調査 県(水産試験場沿岸漁業部)

(2) 事業内容

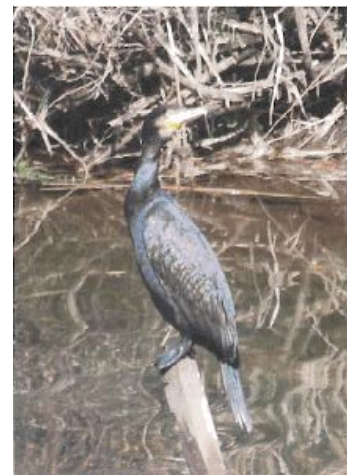
- ・漁協が行うカワウ捕獲に係る経費に対して助成(県1/2)
- ・県(水産試験場沿岸漁業部)において、捕獲したカワウの胃の内容物調査を行い、魚種別被害実態を把握

(3) 事業期間

平成22~24年度(3年間)

(4) その他(カワウ被害防除対策事業推進体制)

今後のカワウ被害対策については、公園自然課が行うカワウの生息実態調査と、水産試験場(沿岸漁業部)が行うカワウの胃内容物調査の結果をふまえて検討していく。



3 これまでの取組状況、改善点

○県では、カワウの生息状況調査(平成16年度)の実施やカワウ対策協議会の開催、国の補助事業を活用したカワウ被害防除対策事業を実施したほか、平成19年度からは、駆除を実施している漁協に対し駆除方法などについての技術的な支援も行ってきた。

○一方で、平成21年に本県で初めてカワウの営巣が確認されたほか、近年のアユなどの不漁原因についてもカワウの影響が考えられることから、今後の対策のため、漁業被害の実態を把握することが必要となっている。